

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 特色化推進担当特色化推進担当

内線: 7392

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P23	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	教育課程推進費		
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4	
					分野施策	0501 確かな学力と目立する力の育成	SDGsターゲット	4-1, 4-6, 4-7	
1 事業概要	優れた授業実践力・指導力を持つ教員による複数校を対象とした遠隔授業の導入・展開や、教員の確保が困難な教科における遠隔授業の導入、専門家による遠隔授業の展開を進めることで、生徒の多様な科目選択の実現、生徒の多様な学びの機会の充実等を図る。		5 事業説明						
	優れた授業実践力・指導力を持つ教員による遠隔授業の実証 節約等による減額 △502千円		(1) 事業内容 優れた授業実践力・指導力を持つ教員による遠隔授業の実証 2,103千円 ア 高等学校におけるICTを活用した遠隔教育の展開実証 イ 高大連携によるICTを活用した遠隔教育の展開実証 (2) 授業計画 ア 教員の確保が困難な一部の教科において、当該教科の免許を持った教員がいない学校に、当該教科の免許を持つ教員がいる学校から遠隔授業を実施し、その効果を検証する。 また、単位認定が可能な形式で実施する。 イ 教員以外の専門家による特別講義として、様々な分野で遠隔授業を実施し、その効果を検証する。 また、単位修得可能な形で、専門家の特別講義として、大学等による、より多様かつ高度な遠隔授業を年間を通じて実施する。 (3) 事業効果 ア 教員の確保が困難な一部の教科等の授業が受講可能になり、生徒の多様な科目選択が実現する。 専門科目の教員による授業の実施により、受信側の教員の資質が向上する。 イ 大学教授による高度な授業等が受講可能になり、生徒の多様な学びの機会が充実する。 【活動指標 (アウトプット)】 ・実証校における遠隔授業の実施 ・大学等の専門家による年間を通じた特別講義の実施 【成果指標 (アウトカム)】 ・生徒の多様な科目選択の実現 ・遠隔授業を受けて学習意欲が向上した生徒の割合 (4) 補正予算の概要 節約等による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△502							△502	2,103
現計額	2,605							2,605	

事業内訳書

事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		
単位事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業	予算額	△ 502千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△502	—	
合計	△502	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△30	—	節約等による旅費の減
需用費	△72	—	節約等による教材費の減
委託料	△400	—	見込みを下回ったことによる委託料の減
合計	△502	—	